

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
算数科教育法	講義	2	西川 恭一
【授業のテーマ及び到達目標】 「算数科の内容と指導の実際」 よりよい算数科の授業をめざして、算数科教育の目標や学習内容の理解、指導法の追究を図るとともに、指導案の作成や指導技術を身に付ける。			
【授業の概要】 算数科の学習内容と授業についての理解を深め、指導案の作成と検討、模擬授業の実践と協議を通して指導技術の向上をめざす。			
【全体の授業計画・内容】			
1. オリエンテーション、算数教育の歴史と算数科の目標			
2. 『小学校学習指導要領解説 算数編』の概説と学習内容の系統①「数と計算」「量と測定」			
3. 『小学校学習指導要領解説 算数編』の概説と学習内容の系統②「図形」「数量関係」			
4. 算数的活動と問題解決的な学習、授業の基本的な流れ			
5. 課題設定の工夫、板書計画とノート指導			
6. 教材化と教具の工夫			
7. 自力解決、話し合い活動、振り返り活動、評価			
8. 指導案作り①(単元構成、指導計画)			
9. 指導案作り②(本時)			
10. 事前研究会(指導案の紹介と意見交換)			
11. 授業準備(教具等の準備物作成と授業の流れの確認)			
12. 模擬授業①及び意見交換(グループ A,B)			
13. 模擬授業②及び意見交換(グループ C,D,E)			
14. 模擬授業③及び意見交換(グループ F,G,H)			
15. まとめ(期末レポート)			
【準備学習の内容】			
予習のあり方:授業を通して出てきた課題について、次時までに取り組んでおく。			
学習のあり方:授業中聞いたこと、考えたこと、思ったことは、できるだけメモをし、記録に残す。 また、話し合い活動の場では進んで意見を交換する。			
復習のあり方:授業メモを整理し、まとめる。授業を通して出てきた課題を確かめる。			
【成績評価】			
授業後小レポート(40%) 指導案・模擬授業(30%) 期末レポート(30%)			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
授業後の小レポートは、次時に評価とコメントを記し返却するので、参考にすること。			
【テキスト】			
・『小学校学習指導要領 算数編』 文部科学省			
・『小学算数3年上・下』 教育出版			
【参考文献】			
授業中、適宜紹介する。			